

SSKP
はばただより
vol.108

編集 社会福祉法人おおぞら会 アクティビティセンターはばたけ
編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9
Tel 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274
URL <http://habatake.jp/>



謹賀新年



新年明けましておめでとうございます！

《 21年度はばたけ旅行から 》※写真 左上:東京(柴又)、左下:京都(映画村)、右上:那須(アルパカ牧場)、右下:那須(南ヶ丘牧場)

今年度のはばたけ旅行は、8月の京都・大阪コースを皮切りに、10月の那須コース・12月の東京コースの計3コースが行なわれました。京都では映画村や嵐山、大阪では通天閣にUSJへ。那須ではアルパカ牧場やサファリパーク、東京では帝釈天に屋形船・・・とはばたけメンバーが全国各地へと行ってきました。今回京都コースに参加したふじよしさんは、「京都に行くのは久しぶりでした。映画村で食べた冷麺やホテルの宿泊が楽しかったです。」と感想を伝えてくれました。

旅行の笑顔の素は、健康な身体と日々の活動に有り！今年もメンバー・職員一同ますます力を合わせて頑張っていきたいと思ひます。よろしくお祈りします！

あけましておめでとうございます 本年もよろしく願いたします



新しい年を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。皆様にと
幸多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

政権が替わり、国の福祉政策がどのように展開するのか、自立支援法の廃止は決まったよう
ですが、まだ具体策は示されてはおらず、事態はとても流動的で、定かではありません。私た
ちのような小さな法人も国の決断次第で右往左往させらることを痛感しています。

このような状況の中、おおぞら会では、皆様からいただく物心両面での変わらぬご支援を頼
りに、事業が継続できていますことを心から感謝申し上げます。

昨年来、理事会や評議員会の場で協議を重ねてまいりましたが、今年度は地域の皆様のニー
ズに応えるべく、武蔵野市での障がいのある児童のためデイサービス事業と、三鷹市での知的
障がいのある人達の就労支援を中心にした事業、そして同じ場所での高齢者向けの小規模多機
能の事業という新しい3つの事業の開始に向けて具体的な取り組みを始めます。

これらは、公的資金と皆様からいただいたご支援金と、利用者の皆様のご負担金を頼りにし
た経営であり、失敗は許されません。責任を負う立場にある者として、いつもの年以上の緊張
感を味わっております。

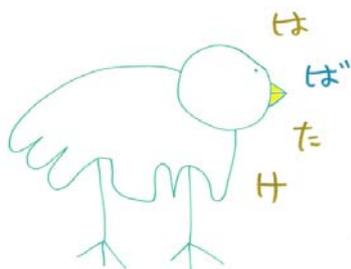
施設長はじめ、全ての職員の熱意と努力を支えにこの年も乗り越えて行くべく頑張りたいと
思います。

皆様、今年も何とぞ変わらぬご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

2010年 元旦

社会福祉法人おおぞら会理事長 西原雄次郎

2010年てすきカレンダー(板付き縦型)を購入された皆様へ



はばたけオリジナル2010年てすきカレンダー(板付き縦型)
ですが、1月・5月・10月に一部印刷の誤り(最終日が抜けてい
る)がありました。つきましては、12月以前にご購入された皆様
に、訂正版をお渡ししております。もし、お心当たりのある方は、
お手数ですがはばたけまでご一報ください。ご迷惑をおかけして
大変申し訳ございませんでした。

アクティビティセンターはばたけ

★新企画コーナー！！★
地域の“この人”に聞きたい!

第3回 “三鷹市高齢者センターけやき苑”
住所 三鷹市深大寺2-29-13 TEL 0422-34-5440

はばたけと地域に関わっている方々を紹介する今コーナー、第3回目は「三鷹市高齢者センターけやき苑」（以下けやき苑）を紹介します。けやき苑は市の指定管理を受け、社会福祉法人 東京弘済園が運営するデイサービスで、要介護認定を受けた方が通っています。そして絵画や書道・水墨画といった様々な活動プログラムを、利用者の方が選んで行なっています。また療法士や看護師、栄養士といった専門職によるリハビリや健康・栄養相談のほか、認知症の方にもきめ細かく対応しています。けやき苑所長の都崎さんは、『デイサービスという言葉を知ると一般の方は遊びに来る所と理解されることが多いですが、「こんな身体で…」と思っていた方が「もっと頑張りたい」「自分でやってみよう」と思うことなど、主体性や目標・喜びを感じてもらいたいという思いで取り組んでいます。』とおっしゃっていました。またけやき苑は、公的な相談窓口として地域包括支援センターの運営やケアプラン作成など幅広い業務を行っています。



☆今年4月で開設17年目を迎えます☆

そんなけやき苑の活動の一つに人形劇「夢楽座（むらくざ）」の取り組みがあります。これは台本・人形・舞台背景づくりといった一連の作業を利用者の方が中心に行い、定期的上演会を開くというプログラムです。これまで「うらしま太郎」や「舌きりすずめ」といった物語を上演してきましたが、はばたけも昨年に上演会のお誘いを受けました。そしてその際にはばたけの自主製品の販売を行ったことがきっかけとなり、けやき苑で毎月1回の昼休み販売会が企画されることになりました。係長の佐藤さんは、「利用される方の中には買い物の機会が少なく何かを買うこと自体が少ない方もいます。そんな方にとってはばたけの販売会を通



☆夢楽座による「舌きりすずめ」上演会。使用した人形は
狛江市の特別支援学校の教材に使用されています。

て、商品を“見て・選んで・欲しい”と思うことで生活の良い刺激やハリにつながればと思っています。」とのことでした。“買い物”と利用者の方の“心の刺激”というつながりを意識しながら、はばたけでも販売会を行っていきたくと改めて思いました。

けやき苑では、その他にも利用者の方ご自身が出演する自主映画づくりを今年度から新しく取り組むなど、創意工夫のプログラムも満載です。「いろいろな思いをもって生きている方が可能性を閉じ込めるのではなく、その人らしく輝いてほしい。」、都崎さんは取材の最後にこう語ってくれました。

けやき苑の皆さん、いつもありがとうございます！

はばたけのいちおし！コーナー

今月はこの商品☆

冬のあったかおり製品

季節のいろどりを

さらりと巻いて

出かけませんか？

自分だけの一枚に出会えるておりの冬。



* 1月の「冬のでしごと展」のほか「星と風のカフェ」や「C-café」にてご購入いただけます。

レッツ・ゴー! はばたけチーム

汗と感動のタスキ、あなたに応援。 三鷹市民駅伝大会

出場します!



チームワークで完走目指してがんばります!

☆駅伝参加選手☆

- 第1区(市役所-東児童館)
せとさん (3.8km)
 - 第2区(東児童館-有三記念館)
いけださん (2.6km)
 - 第3区(有三記念館-井ロコミセン)
おおさわさん (3.1km)
 - 第4区(井ロコミセン-市役所)
ごとうさん (3.8km)
- ☆補欠・伴走者
- いいじまさん(補欠)
 - ささきさん(伴走)
 - しょうじ(伴走)
 - うらべ(伴走)

三鷹市の新春イベント「第18回三鷹市民駅伝大会」が近づいてきました!そしてはばたけも「完走!はばたけチーム」として2年ぶりに出場することになりました。

今大会の参加に関しては、参加者を募ったところ8名の立候補者が挙がったので2チームで申し込みました。しかし申し込みが募集枠の200チームを大幅に超えたため、大会事務局の抽選の結果、惜しくも1チームの出場ということになりました。予想外のこの状況に「選手をどうやって決めようか?」ということになり、参加者で話し合いを行ないました。話し合いでは「選手として走りたい!」という意見が大半を占め、皆の駅伝参加への強い思いを改めて感じました。そして最終的にくじ引き抽選会を行なって4名の選手が決定しました。今回選手を引き当てるができなかった人もいますが、補欠や伴走者として役割をもち、チーム一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

12月半ばから週2回の練習も始まりました。今回初めて駅伝大会に出場するいけださんは、「初めてだけどトロフィー目指してがんばります!」とコメントしてくれました。また1区を走るせとさんは、「1区を走る。優勝目指してがんばります!」と意気込みを語ってくれました。それぞれの目標に向かってはばたけメンバーが三鷹市内を駆け抜けますので、ご声援をよろしくお願ひします!



勢いよくスタート!



準備運動も入念に行ないます。



三鷹市民駅伝の応援をよろしくお願ひします!

2月14日(日) 9:20スタートです!



はばたけクリスマスBOX

完売しました!

* はばたけギフト 大好評 *

ずっと“つくりたいね”と話してきた『はばたけギフトセット』。はじめての試みでしたが、はばたけをあつめたかわいい箱にしたい!という思いでアイデアを出し合いました。

特別な感じにしたいな...ということで、てすき班はちょこっとサイズのレターセット、ており班はギフトにぴったりのポーチと、ギフトの雰囲気に合わせて今回のために新作をつくりました。クッキー班もクリスマスにぴったりのスノーボールクッキーを特別に作り、はばたけらしいあったかい商品がそろいました!

そして今回は、はばたけの商品に加え、香草亭(はばたけのカフェ)でお世話になっている神田珈琲園さんにもご協力いただき、コーヒー豆と紅茶を詰め合わせました。ちょっと深めの焙煎でお願いしたオリジナルの『クリスマスブレンドコーヒー』と、イギリスでクリスマスシーズンに飲まれるブレンドティー[オレンジは太陽・アップルは愛・スパイスは三賢者の贈り物という意味があります]はすべて神田珈琲園のてしごと。



ずらっと並んだ箱...喜んでもらえるといいな



こうしてできあがったギフトセットは、限定60個の予定をはるかに越えて、なんと100個の注文がきたのでした。“はばたけ”がぎゅゅとつまったギフトセット...これからも贈り物に喜ばれるようつくっていただけたらと思います。ぜひ次回をお楽しみに!!

大忙し...ておりの冬です!

てづくりのぬくもりが恋しくなるこの季節。ており班では毎年この時期に展示会を開催しています。今期は1月から2月までの2カ月間、市内の『食茶房むうぷ』さんのギャラリーをお借りして、ふわふわのマフラーやあったか小物を展示販売します。自分の作った製品を手にとってもらえる機会は、ており班のメンバーにとって何よりの励みになります。展示会に向けて追い込み時期の現在、はばたけのており工房では機織のカタコトという音が心地良く響きます。ており班のメンバーは、イメージがわくとマフラーも一本あつという間に仕上げてしまいます。そんなときほどいい作品に仕上がっていて、いい顔をしているのです。その姿を見ると「おっ!やっぱり職人さんだな...」とあらためて実感します。この時期になるとそんな“いい顔”がたくさん見られるのです。



そしてもうひとつ...。12月のており班は、毎年お声のかかる『銀のさら』さんからの下請け(宅配すし用のおはしとお醤油をセットするお仕事)も担っており大忙し。

下請けの作業には、ておりにはあまりない“連携”や“スピード”などが求められます。ておりとはまったくペースの違う作業ですが、日頃自分と向き合う作業が中心のておりの仕事では得られない達成感もあり、みんながひとつにまとまるいい機会にもなっています。

「また銀のさらのお仕事来たよ。去年〇〇さんといっしょにやったね。またがんばろう」と声を掛け合い、納期を目指して気持ちをひとつにしていきます。

いつもはゆったり...いざというときはしっかり!とパワーを秘めたており班。さあ、今年もパワー全開で行きましょう!

★おおぞら会後援会ニュース★

～新年のご挨拶～

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。こうしたご祝詞を申し上げますと、皆様方の中には「何を呑気なことを」とお思いの方もいらっしゃるかもしれません。



ご承知の通り、昨年来、我々生活者を取り巻く環境はますます厳しさを増し、世界情勢は全く予断を許さない状況でございます。こうした大変な時代だからこそ、改めて昔からの日本の暮らしの良さや伝統を見直し、この新しい年と一緒に迎えられたことを、率直に感謝したいと思います。今まさに我々は「家族」「歴史」「伝統」「文化」を見直す時期に来ていると思うのです。次の世代や、100年先、千年先の命まで、我々が育ってきた自然環境や歴史や文化をきちんと受け継いでいくためにも「受け継いで来たもの」を見直すことが今求められているように思えてなりません。皆様にとりまして、この新しい年がより佳き年でありますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

おおぞら会後援会 会長 吉野 壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新(敬称略)★

個人8名・法人1社からご入会・ご更新をいただきました。ありがとうございました。

★法人・施設へのご寄付(敬称略)★

個人12名・法人1社からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

(以上 10/1～12/16分) 皆様 ありがとうございました。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

社会福祉法人おおぞら会へご寄付をされた方へ

個人が法人へご寄付をされた場合、申告を行うことで一定の額が個人住民税の税額から控除される制度ができました。この控除を受けるために、寄付した翌年の3月15日までに所得税の確定申告をする必要があります。これにより所得税の寄付金控除と個人住民税の寄付金税額控除の両方を受けることが出来ます。また、三鷹市個人市民税の税額控除も同様に対象となります。申告にあたり、寄付をした際受け取った「寄付金受領証明書」を添付する必要がありますので、保管しておいて下さい。

尚、所得税の確定申告をせずに個人住民税の寄付金税額控除のみを受けようとする場合は、寄付をした翌年の1月1日現在居住する区市町村へ申告することができます。但し、この場合は所得税の寄付金控除は受けられません。

～きょうざれん第33次国会請願署名・募金キャンペーン～

さようなら自立支援法！とびっきりの新法を！！

いよいよ33回目になる「国会請願署名・募金運動」がスタートします。新政権による障害者自立支援法の廃止表明を、私たちは心から歓迎します。と同時に、新たな法律の制定に際して、私たちの声を国に届けていなくてはなりません。障がいの谷間のない制度を作り、市町村事業について国の財政責任を明確にし、福祉と雇用を連結する支援策の整備を目指す、この署名活動にみなさんのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

☆お問い合わせ 署名の送付先はこちら☆

〒181-0014 三鷹市野崎3-17-9 アクティビティセンターはばたけ 国会請願係

Tel.0422-32-3234

☆集められた募金は、署名活動への資金、全国大会への利用者の参加費用、各作業所の運営費として有効に活用させていただきます。

活動日誌 11月1日(日)～12月31日(木)まで

11月1(日)	けやき苑まつり(販売)	12月3(木)	行事旅行・東京コース(～4日)
4(水)	行事旅行・那須コース(～6日)	6(日)	三鷹市心のバリアフリーイベント (販売・ルーキーズ)
8(日)	ルーテル愛祭 販売	10(水)	臨時理事会
9(月)	府中朝日実習受入(～20日)	16(水)	嘱託医検診 利用者向け健康ミニ講座
16(月)	健康個別相談 府中朝日実習受入(～27日)	17(木)	家族懇談会
22(日)	ひまわりバザー 販売・ルーキーズ	25(金)	クリスマス会(自治会主催)
27(金)	自治会	28(月)	大掃除
職員会議 13(金) 27(金)		29(火)	冬季休暇(～1月4日)



職員会議 8(木) 23(金)

◎来訪された方々(12月15日現在)

TKC・櫻井様 ミュージックボランティア協会・櫻井様 健康センター・笠原様 ハピネスセンター様
 とも企画設計様 つばさ訪問看護ステーション様 小川クリニック・小川様 SECエレベータ様
 (株)東京ライフサービス様 鴨下様 国立厨房様 まちかど自立センター・南雲様 サカイヘルスケア様
 ナイキ様 グリーンシステム様 ティアーズコンピュータ様 東京都・生活基盤整備係様
 シュガーボウル様 三鷹ひまわり共同作業所・山口様
 府中朝日特別支援学校・ご父兄様

◎実習生の方々(社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習)

府中朝日特別支援学校・佐藤様、田柄様 日本大学・吉谷様 桐朋音楽大学・井上様

◎ボランティアの方々(いつもありがとうございます)

稲吉様

～施設長のひとりごと～

最近、心に残った言葉▼「人は人と人からしか生まれません。どんなに障がいが重くても人間なんです」「人は人の中でこそ人になります」訪問の家理事長日浦美智江さんの言葉。20年前から何の制度もない中で、重度重複(重症心身)障がい者の作業所(通所施設)をプレハブ小屋から始めた人だ。当時、厚生省障害福祉課長だった浅野史郎さんが訪れ、「ここには事実がある」といって、B型センターを制度としてつくったという話は感動的だ。▼これも講演で聞いた言葉。生物の特徴は命の再生産にあります。でも、生まれてくる子どもは親の全くのコピーではありません。一人ひとり、かけがえのないものなのです。鎌田實さんの話した。そして、「いのちをつなぐ」ことの大切さを話されていた。▼自分が50を超える年になる中で3歳を迎えた娘を育て、一方で一人暮らしをしていた母親が軽いうつ病になったりすると、「人と人のつながり」「いのちの大切さ」をしみじみと実感するものだ。▼今年も、何人ものかけがえのない人が生まれ、何人ものかけがえのない人が亡くなった。でも、すべての人がいのちをつなぎ、人をつなげている。日浦さんが「彼ら彼女らは磁石です」と言う。重度重複障がいをもつ人たちは、すべてを他者に委ねなければ生きていけない。だからこそ、人がひきつけられ、人と人を結びつける。引き付けられる私たちは、彼らと向き合う中で人としてのあり方を問われることになる。だから、彼ら彼女らは命の再生産はしないかもしれないが、結びつきの再生産を生涯かけてやっているのだと思う。やはり、いのちをつないでいる。▼新しい年が少しでも、「いのちをつなぐ」ことを実感できる年になればと願っている。(三浦)

ふゆのてしごと展



2010.1.7 - 2.26 syokusabou mu-pu

はばたけており班 ふゆのてしごと展

マフラー・ショール
ておりの小物など
ており班の職人たちの手仕事に
ぜひ触れてみてください…

・ 2010.1.7 ~ 2.26

・ 食茶房むうぷ ギャラリー (Mon~Fri 11:30~15:30)

*「食茶房むうぷ」は、杏林大学病院にあるレストランです。ランチや喫茶もございますので、ぜひご利用ください。

お問い合わせは、はばたけまで。(むうぷへのお問い合わせはご遠慮ください)

*アクセス：小田急バス 三鷹駅・吉祥寺駅・調布駅より「杏林大学病院前」下車すぐ

社会福祉法人おおぞら会

- ・ **アタビ・テイセターはばたけ** (知的障害者授産施設[通所]) 三鷹市野崎 3-17-9 tel 0422-32-3234
- ・ **サポートネットあすは** (移動支援[居宅介護]事業) (日中一時支援事業) 武蔵野市関前 2-5-14
- ・ **ショートステイさくら** (短期入所事業) tel 0422-36-5151
- ・ **つなぐなかまの家・さくらハイツ** (グループホーム・ケアホーム事業)



<http://habatake.jp>

[編集後記]

あけましておめでとうございます。といいながら、原稿を書いている今は2009年の師走。師走というだけで気が焦り気味の私は、違う車のキーを挿して「ハンドルがロックされて動かない!」と慌てていろんな人を巻き込んでしまったり、予定を1日間違えて待ち合わせ場所に出かけてしまったり…なんとも救いようのない失敗続きの毎日。こんな年末で、はたして私の2010年は大丈夫なのだろうか…。2010年おおぞら会は新規事業にむけて正念場の年。新年、しっかりねじを締めなおして行こう!(いりくら)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

企画・編集 アタビ・テイセターはばたけ 編集責任者 三浦明雄 編集委員長 入倉暁子 編集委員 卜部禎生 中野昭精 [頒価 50円]